

教えてください、あなたのことを。⑩

東京都練馬区 中井八千代 さん

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク運営委員・事務局

Q 差し支えなければ、年齢、出身地を教えてください。

A 年齢は内緒ですが、卯年です。出身は宮城県栗原市です。山沿いでしたので津波の被害は免れましたが東北はいまだに余震が続き、地震速報を見ながら東北の皆さんの不安を思い、心を痛めています。



つなげるつながる会員さん

Q ごみ問題に関心を持つようになったきっかけは？

A 子どもが生まれたのをきっかけに、「水」から環境問題に関心を持ち、「被害者でもあり、加害者にもなる環境問題」を強く意識し、石けんを使う暮らしを進める活動から始めました。1995年に練馬区で『市民提案のリサイクル条例をめざす会』を約100人の仲間たちと共に立ち上げ、学習会や調査活動を続け、リサイクル事業者や清掃職員、超党派の議員や行政職員も巻き込みながら、条例の市民案づくりに取り組みました。4年間の活動の成果で、「3Rの優先順位」や「燃やさない・埋め立てない」を盛り込んだ練馬区リサイクル推進条例が、1999年に制定されました。

条例づくりをきっかけとして、2001年にドイツごみツアーに参加し、日本の法律改正の必要性を強く感じて帰国。まずはごみに関する情報の公開と市民共有をと、廃棄物会計調査に取り組みました。2003年の「容器包装リサイクル法の改正を求める全国ネットワーク」（全国200団体）の立ち上げに関わり、容リ法改正国会請願運動を展開しました。2006年に「容器包装の3Rを進める全国ネットワーク」と改称し、事務局として現在に至っています。

Q 「ごみ・環境ビジョン21」に入会して下さったきっかけを教えてください。

A 容器包装リサイクル法改正運動を通じて、つながりができました。

Q ごみ問題に関わること以外に、趣味や生きがいは何ですか？

A 趣味は映画鑑賞と料理です。生きがいは、子どもたちとの環境学習。

Q 特筆すべき近況があれば、教えてください。

A 3R全国ネットでは、来年度とされる容リ法改正に向けて、改正市民案を作成。全国10箇所、3R政策地域研究会を立ち上げて市民案の再検討を重ねています。2012年12月、EUの専門家二人を招いて国際シンポジウムを開催。市民、事業者、行政、研究者など170人が集い、EUのEPRと日本型のEPRのあり方について、深く思索・議論することができました。そして…次のセミナーを開催します!! ぜひ、ご参加下さい。

『EUのEPR制度から見た、日本型EPR制度のあり方を徹底討論!』

(12・6国際フォーラム・フォローアップセミナー)

日時: 2013年3月12日(火)14:00~16:30

会場: 飯田橋セントラルプラザ16F Aルーム

講師: 山川肇さん(京都府立大准教授)、伊藤憲夫氏(新宿区環境清掃部長)